

教材教具名 「あのやまこえてどこいくの」	教科 (国語・算数)	
-------------------------	---------------	--



教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- ねらい

絵本を見聞きするなかで、おおまかなあらすじを理解したり、言葉の繰り返しを期待したりすることができるようになる。

あらすじを理解して、実際に丸型を選んだり選んだものを渡したりするなど、楽しみながらやりとりをすることができるようになる。

話のあらすじに沿って物を操作する活動を通して、

 - ・2つを見比べて1つを選び取ることができるようになる。
 - ・絵本を見ながら絵本と同じ色の丸型を選び取ることができるようになる。
 - ・絵本に描かれている食べ物の絵を見たり身近な食べ物の名称を聞いたりして、その食べ物模型を2つのなかから選ぶことができる。
- 発達段階 「発達段階指導内容表 国語科」の 期 模倣・指さしを獲得する時期
(発達年齢：およそ1歳～1歳半)
- 使い方

絵本の読み聞かせをする。

話のあらすじに合わせて以下のようにして使用する。

 - ・絵本に登場する児童からみんなの前に出て、2色の丸型から1色を選び、猿のお面をかぶった教師に渡すようにして使用する。
 - ・話のあらすじに合わせて、猿役の教師が食べ物模型を取り出して児童に渡す。2、3回目からは、絵本に描いている食べ物の絵を見せたり、食べ物の名称を聞かせたりして食べ物模型も2つのうちから児童が選ぶようにする。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

話のあらすじは、絵本「あのやまこえてどこいくの」を参考に簡単な繰り返しで構成し、児童自身を登場人物として登場させたことにより、楽しみながら絵本を見聞きし、同じように活動しようと、意欲的に色を選ぶ姿が見られた。児童の名前と顔写真はマジックテープで取り付け・取り外しができるようにし、どの色の場面にも登場させることができるように工夫した。色合わせという算数科のねらいも取り入れることができたことはよかったと思われる。今後は、この話を展開させて丸だけでなく三角や四角の形も取り入れる、色や食べ物を変える、丸型を猿に渡すと今は一つの食べ物模型が出てくるが、食べ物の数を増やし、一体一対応へとつなげるなど、様々な内容が考えられる。

